平成 25 年 10 月 31 日

各　　位

上場会社名　　三菱化工機株式会社
代表者　　取締役社長　山中　菊雄
（コード番号　　6331）
問合せ先責任者　経理部長　齋藤　雅彦
（ＴＥＬ　　044-333-5354）

繰延税金資産の取崩し、第２四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

１．繰延税金資産の取崩しについて

当四半期連結累計期間及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第２四半期連結累計期間において繰延税金資産を取崩し、約18億円を法人税等調整額に計上いたしました。

２．業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期第２四半期連結累計期間の業績について、平成 25 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想と差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1) 平成 26 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値と実績との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,500	△300	△300	△200	△2.53
実績値（B）	17,603	△1,632	△1,624	△3,496	△44.22
増減額（B－A）	△897	△1,332	△1,324	△3,296	
増減率（%）	△4.8	―	―	―	
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 25 年 3 月期第 2 四半期）	21,037	△845	△866	△769	△9.73

(2) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	37,500	400	400	250	3.16
今回修正予想（B）	34,700	△1,850	△1,850	△3,700	△46.80
増減額（B－A）	△2,800	△2,250	△2,250	△3,950	
増減率（%）	△7.5	―	―	―	
（ご参考）前期実績（平成 25 年 3 月期）	46,745	△1,190	△800	△987	△12.49

(3) 修正の理由

当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高は、既受注の大型工事の売上がほぼ前期で終了したことに加え、当第２四半期連結累計期間の受注高減少の影響により、当初予想を下回りました。

損益面におきましては、売上高の減少による売上総利益の減少に加え、既受注の海外プラントの一部大型工事においてコスト改善が出来ず、工事採算の更なる悪化が発生したことにより、営業利益、経常利益ともに予想を下回りました。また、上記１.のとおり、繰延税金資産を取崩したことにより、当期純利益についても予想を下回りました。

今後の経済動向につきましては、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されますが、円安傾向の流れと株価の上昇にはすでに一服感があり、また米国の財政問題や世界景気の減速懸念、さらには来春に予定されている消費税率引上げに伴う影響の先行き不透明感もあり、予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

通期の業績につきましても、当第２四半期連結累計期間の業績及び今後の経済動向を鑑み、上記のとおり業績予想を修正いたします。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

３．配当予想の修正について

(1) 修正の内容（平成 26 年 3 月期）

	1 株当たり配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想（平成 25 年 5 月 15 日）	―	0.00	―	未定	未定
今回修正予想			―	0.00	0.00
当期実績	―	0.00			
前期実績（平成 25 年 3 月期）	―	0.00	―	0.00	0.00

(2) 修正の理由

平成 25 年 5 月 15 日に発表いたしました平成 25 年 3 月期決算短信では、期末配当金の予想を「未定」としておりましたが、上記２.「業績予想の修正について」に記載のとおり、平成 26 年 3 月期の決算が大幅に悪化する見込みであることから、当社の期末配当金の予想を「無配」と修正いたします。

株主の皆様には、誠に申し訳なく存じますが、事情ご賢察のうえ、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

以上